



やまばと
学校だより No.9



千葉市立養護学校
千葉市若葉区大宮町1066の1
Tel 043(265)9293
令和7年11月11日(火)発行

笑顔満祭！

～みんなでつくる ちしろまつり～

11月1日(土)、前日の大雨が嘘のように晴れ、晴天の中、1,100人を超える多くのお客様が詰めかけ、「第42回ちしろまつり」が盛大に行われました。今年は、お客様への接客がスムーズに行えるよう、オープニングは各班のブースにスタンバイして放送で行いました。

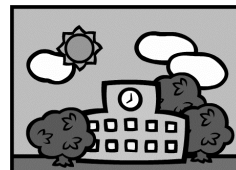
10月初めに生徒会が中心となり導入集会を開き、スローガンを発表。そこからは、各作業班の製品作りだけでなく、お囃子や神輿、装飾やステージ発表等、学校全体が一丸となりちしろまつり成功に向け準備を進めてきました。前日集会では、各学年の本番さながらの個性の光る・迫力ある発表に拍手をしたり、各作業班の思いの詰まった製品の紹介動画を見たりし、気持ちを高めて当日に臨みました。当日は、どの作業班も長蛇の列ができるほどの人気。校内を回っていると、保護者の方だけでなくお世話になった先生方から、生徒たちの一生懸命な姿や成長した姿に驚きと喜びの言葉をたくさん頂戴しました。笑顔やうれしい言葉の飛び交う、ちしろまつりとなりました。この大成功の陰には、生徒会を中心としたまつり運営チームや一緒にまつりを盛り上げていただいた、来場者、保護者の皆様のご協力のお陰と感謝しております。ありがとうございました。

訪問学級の活動

本校の訪問学級は、高等部1名の男子が在籍している学級です。重度の心身障害があり千葉市桜木園に入所しているため、毎日の登校が難しく、担任が訪問して授業を行っています。桜木園の2階には養護学校の教室があり、週に3日エレベーターに乗って教室に向かいます。そこで、朝の会をしたり自立活動で身体を動かしたりと、いろいろな活動を行います。学習の中

で触れる、聴く、動かす等、様々な感覚を活用することで、元気な様子をたくさん見せてくれるようになりました。

今年度は高等部に進学し、友達がたくさん増えました。最近ではちしろまつりに向けて活動し、製品づくりを友達と行ったり、当日は販売活動に参加したりすることで、生き生きと学校生活を送ることができています。これからも健康状態に留意しつつ、桜木園（訪問）と学校（スクーリング）の相乗効果をねらい、様々な学習や体験を行っていきます。



大宮中学校との交流及び共同学習

1985年（昭和60年）より始まった大宮中学校との交流ですが、今年度も、大宮中学校の1年生33名の生徒と実施することができました。

昨年度に引き続き障害理解のための事前学習として、キャラバン隊「ららら」の皆さんが大宮中学校で講演をしてくださいました。その後、中高それぞれの作業班に配属される生徒と各作業班の生徒同士、オンライン上での顔合わせを行いました。お互いの自己紹介の後、事前に作成した動画を見たり、製品の紹介をしたり、質問をしあったりする中で、お互いを知る機会となりました。

実際の交流として10月23日、24日の2日間、作業班毎に一緒に活動を行いました。1つの工程を任されて黙々と作業に取り組む姿や計量作業を本校生徒と大宮中生徒が協力して行う姿、休憩中に楽しそうにおしゃべりする姿など素敵な場面が多数見られました。大宮中学校の生徒に負けじと本校の生徒もいつもより作業ペースが速くなるなど、交流を通して普段以上の良い姿を見ることができました。また、対面式と解散式を運営してくれた生徒会役員の生徒が温かい雰囲気を作っていました。大宮中学校の生徒からは「難しい作業に黙々と取り組んでいてすごいと思った」「言葉でのコミュニケーションが難しい人とも、別の方法でコミュニケーションをとれて友達になれた」という感想をいただきました。

